

伊達な旅ガイド

Vol.127

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

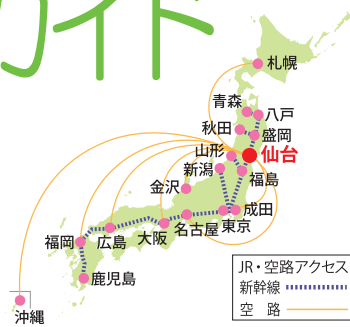
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中



宮城県
観光PRキャラクター
むすび丸



今回の伊達な旅MAP



7月1日
放送

日本最古の伝統染め「正藍染」

しょう あい ぞめ

栗原市栗駒では、日本最古の染物「正藍染」が息づいています。昭和30年に国の重要無形文化財に指定された千葉あやのさんに続き、娘のよしのさんが二代目、そして現在は三代目のまつ江さんが正藍染を継承しています。種まきから染め上げまで一貫して手作業で行われる正藍染は、自然のものから生まれた美しさが魅力です。市内には、期間限定で正藍染を体験できる「愛藍人・文字」も。正藍染の美しさに触れてみませんか。



正藍染の作業工程

種をまく

刈り取る

藍の葉を乾燥させる

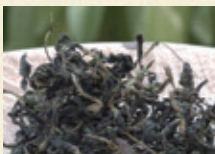
乾燥した藍の葉を発酵させ、白で餅のようにして十センチ程度の「藍玉」をつくる

藍玉から染料をつくる

染める

洗う

乾燥する



三代目 千葉まつ江さん

「すべての作業が大変です。大変だから、若い時はあまりやりたいと思わなかったけれど、近くで手伝いをしてうちに、自分もやらなくてはいけないと思うようになり、ここまでやってきました。今はいやだとは思わないです。このような仕事があるから、生きがいがあるので良かったとも思います」

「桶に藍玉を入れて、色を出すときには、いい色になってくれればいいなと思っています。完成するまで心配が絶えません」



愛藍人・文字

Tel.0228-47-2141

藍を収穫し乾燥させた後の一定の期間のみ、正藍染の体験ができます。それ以外の期間でも、正藍染の作品を見学できます。



指導員 宮島さく子さん

「正藍染の魅力は、すべて天然のものを使うということです。生活のそばにあったものすべてまかなっていたという『根気強さ』も魅力でしょう」



●体験者の声

「想像していた体験より、結構難しかったのですが、出来栄をみて納得しました」

